

2018年8月30日(木)

秋田魁新報に
「百年杉の森の積み木」
が取り上げられました。

(第3種郵便物認可)



樹齢100年を超える秋田杉で作った積み木

組み立てれば弁当箱!?

樹齢100年を超える秋田杉材の積み木を組み合わせると、大皿わっぱでおなじみの小判形弁当箱の形に。大館市の伝統工芸品にちなんだユニークなおもちゃが、曲げわっぱ製造販売の大館工芸社(大館市秋田内、三ツ倉和雄社長)とおもちゃ業者によって開発され、先月から販売されている。木材の販路拡大につながるとして、関係者は期待を寄せている。

大館工芸社 おもちゃ業者 協力し商品化

積み木の開発は、NPO法人 華術と遊び創造協会理事長で、同協会が運営する東京おもちゃ美術館(東京都新宿区)の多田千尋館長が昨年11月に大館工芸社の工場を見学し、端材の有効利用に興味を持ったことがきっかけ。

同館とおもちゃ販売会社アプティ(東京都中野区)が昨年末から端材を使って開発。半円形12、長方形18の計30ピースから成り、組み立てると幅24センチ、行き13・2センチ、高さ7・3センチの小判形弁当箱の形になる。開発に関わったアプティ事業

曲げわっぱ端材で積み木

本部の加藤貴彦部長(右)は「他にはあまりない半円形のピースを多く使いオリジナリティーを出せた。柏木のようにカチカチと響く音もいい」と語る。大館工芸社の担当者は「しつかり乾燥させたため、数十年たつても反らないし割れない。木の音りも楽しめる。子どもの使用を想定し、安全性に十分に気を付けた」と話した。

新商品の名称は「百年杉の森の積み木」。7月から東京おもちゃ美術館のほか、鳥海山木のおもちゃ美術館(由利本荘市)、島崎おもちゃ美術館(山口県長門市)の各ショップで販売。アプティの通販サイトでも取り扱っている。積み木を包む白い風呂敷付きで、1セット税込み6210円。問い合わせはアプティ03・5942・9532

き学 るの 月す 、 気 り約 1 第 1 し 沸 露 る な

お問合せ先：株式会社アプティ
〒165-0026 東京都中野区新井 2-12-10
Phone 03-5942-9532
Fax 03-5942-5233
e-mail info@aptytoys.co.jp

※製品の詳細ページは2018年10月中旬頃完成予定です